

北部地区

9月10日(水)、北部会館3階研修室にて令和7年度北部地区労働衛生管理推進大会を開催し、49事業所109名が参加しました。

参加者全員で黙とうを捧げたあと、宮城広昭北部支部長のあいさつがあり、「働く方々の健康と安全を守ることは、企業の持続的な成長のみならず、地域社会の活力にもつながる重要な課題である」と呼びかけました。渋谷名護労働基準監督署長からは来賓あいさつを



いただき、酒井監督・安衛課長からは、労働衛生週間の取り組みについて説明がありました。その後、名護労働基準監督署長表彰として拓南製鐵株式会社石灰工場副班長の松田智喜氏への表彰状授与式を執り行いました。



そして協会けんぽの谷川聖氏から高血圧対策についての講演をいただき、特別講演では、株式会社ホウゴの玉城和弥氏により「職場でできる、簡単!腰痛予防エクササイズ」と題して参加者でエクササイズを実践しました。特別セミナーとして菅原稔労働安全コンサルタントより職場における受動喫煙防止対策の講演をいただき、大会宣言は建災防北部分会・株式会社北勝建設の崎山ひなた氏の読み上げ後、採択され、建災防北部分会安全指導者の末吉業忠氏を代表に全員参加で指差唱和を行い、建災防沖縄北部分会の仲程俊郎分会長の閉会のあいさつで、健康職場を誓いました。



宮古地区

9月3日(水)宮古島市中央公民館多目的ホールにて、令和7年度宮古地区衛生大会を開催35事業所88名が参加しました。



参加者全員で黙とう後、亀川康則陸災防宮古分会長のあいさつにより開会し、渡真利勝宮古支部長からは、「各職場における労働衛生管理活動を通して、労働者の心身の健康確保と快適な職場環境を目指した取り組みをお願いしたい」旨のあいさつがありました。その後、瀬底正亮宮古労働基準監督署長から来賓あいさつをいただき、同監督署の中野哲太郎監督官からは、労働衛生週間の趣旨についての説明がありました。



特別講演では、協会けんぽの橋口尚幸氏から「健診結果から始める健康づくり」と題しての講演がありました。大会宣言は港災防宮古支部の徳村政治宮古支部長より読み上げ後採択され、建災防沖縄県支部宮古分会安全指導者を中心に参加者全員でスローガンに向かい指差唱和を行い、建災防沖縄宮古分会の友利勝人分会長の閉会のあいさつで、労働衛生の意識を高めました。

